MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2023/11/01 号（As of 2023/10/31）

金融市場部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	149.51
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.13	1.0614	158.37	1.2162	0.6368
SYD-NY High	151.74	1.0675	160.83	1.2201	0.6374
SYD-NY Low	149.03	1.0558	158.29	1.2120	0.6315
NY 5:00 PM	151.74	1.0576	160.39	1.2154	0.6338

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	33,052.87	123.91	日本2年債	0.1500%	0.0500%
NASDAQ	12,851.24	61.75	日本10年債	0.9500%	0.0600%
S&P	4,193.80	26.98	米国2年債	5.0811%	0.0323%
日経平均	30,858.85	161.89	米国5年債	4.8456%	0.0284%
TOPIX	2,253.72	22.48	米国10年債	4.9254%	0.0386%
ｼｶｺﾞ日経先物	31,375.00	750.00	独10年債	2.8080%	▲0.0185%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,321.72	▲ 5.67	英10年債	4.5135%	▲0.0455%
DAX	14,810.34	93.80	豪10年債	4.9180%	0.0370%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,112.48	▲ 293.88	USDJPY 1M Vol	8.98%	1.03%
上海総合	3,018.77	▲ 2.78	USDJPY 3M Vol	9.62%	0.72%
NY金	1,994.30	▲ 11.30	USDJPY 6M Vol	9.85%	0.60%
WTI	81.02	▲ 1.29	USDJPY 1M 25RR	▲0.60%	Yen Call Over
CRB指数	281.15	0.39	EURJPY 3M Vol	9.57%	0.48%
ドルインデックス	106.66	0.54	EURJPY 6M Vol	9.86%	0.35%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は149.13ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日のYCC再修正報道を受けた下落が一巡し、月末のﾄﾞﾙ買い需要もあってか仲値にかけてはﾄﾞﾙ買い優勢の展開。正午過ぎに日銀が会合結果を発表しYCC再修正が明らかになるも、市場の想定に比べてﾊﾄ派的な内容に留まったとの受け止めから150.12まで急伸。その後も緩和継続姿勢を背景に150.26まで上値を伸ばし、150.19ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、150.19ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。日銀政策発表を受けた円安が継続。介入警戒感もあってか断続的に売りが入るも、勢いは続き150.95まで上昇。150.73ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ｸﾛｽ円でも円売りが加速し、特に対ﾕｰﾛでは2008年以来の160円台を記録した。

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は149円台前半でｽﾀｰﾄ。月末に絡んだ実需の買いから、149.56まで上昇。その後、日銀金融政策決定会合の結果が発表され、長期金利1.0%を上限を「目途」とし、1.0%超を容認する姿勢が発表されるも、150.12まで上昇。その後、行われた植田日銀総裁の記者会見でも「長期金利が1.0%を大幅に上回るとはみていない」等の発言を受け、円売りの流れが続き、ﾕｰﾛ円が2008以来の160円に乗せる場面を横目に、ﾄﾞﾙ円も続伸し、150.73ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米第3四半期雇用ｺｽﾄ指数が予想を上回り、ﾄﾞﾙ高基調が続き、151円に乗せる。続いて発表された米10月ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感指数も予想を上回る結果を受け、ﾄﾞﾙ買いが強まり、151.72まで続伸。午後はﾄﾞﾙ買い一巡となり、一時151.05まで反落するも、その後じりじりと切り返し、終盤には151.74を付け、そのままｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.06台前半でｽﾀｰﾄ。1.0591まで小幅反落するも、その後欧州株式市場の堅調な展開を受け反発し、1.0656ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米短期金利が上昇する展開を受け、ﾛﾝﾄﾞﾝﾌｨｷｼﾝｸﾞにかけてじり安での推移が続き、1.0558まで値を下げる。午後は小幅反発し、1.0580付近での値動きが続いた後、1.0576ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：中山・田川

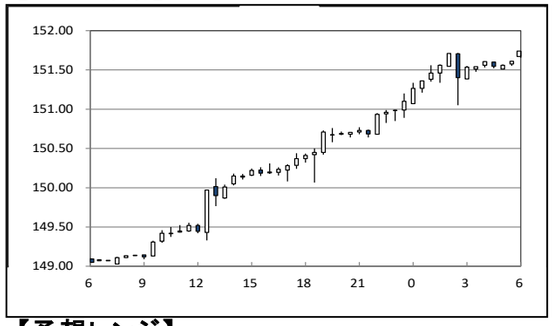
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
10月31日	08:30	日	失業率	9月	2.6%	2.6%
	10:30	中	製造業PMI	10月	49.5	50.2
	10:30	中	非製造業PMI	10月	50.6	52
	–	日	日銀金融政策決定会合		1.0%を目途に機動的にオペ対応	
	16:00	独	小売売上高(前月比)	9月	-0.8%	0.5%
	16:45	仏	CPI(前年比)・速報	10月	4.0%	4.0%
	19:00	欧	GDP 前期比/前年比	3Q A	-0.1%/0.1%	0%/0.2%
	19:00	欧	CPI速報値 前年比/前月比	10月	2.9%/0.1%	3.1%/0.3%
	21:30	加	GDP(前年比)	8月	0.9%	0.9%
	23:00	米	ｺﾝﾌｧﾚﾝｽﾎﾞｰﾄﾞ消費者信頼感	10月	102.6	100.5

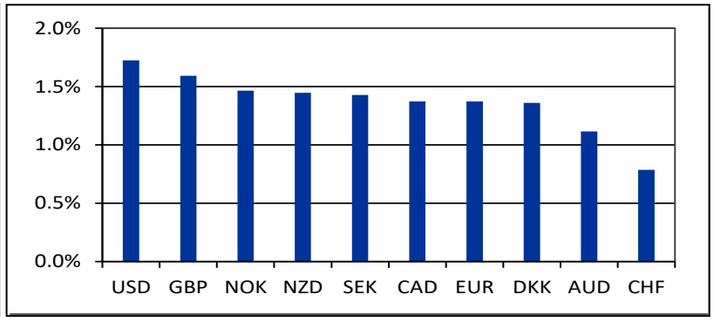
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月1日	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	10月	50.8	50.6
	18:30	英	製造業PMI・確報	10月	45.2	45.2
	21:15	米	ADP雇用統計	10月	150k	89k
	22:45	米	製造業PMI・確報	10月	50	50
	23:00	米	建設支出(前月比)	9月	0.4%	0.5%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	10月	49	49
11月2日	03:00	米	FOMC政策金利 上限/下限	1-Nov	5.5%/5.25%	5.5%/5.25%
	03:00	米	FOMC声明発表	–	–	–
	03:30	米	パウエルFRB議長会見	–	–	–

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.50-152.50	1.0530-1.0700	159.00-161.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、朝方149円台前半でスタート後、日銀金融政策決定会合を受けて150円近傍まで急騰、その後もじり高。ロンドン時間に入り10月に財務省による為替介入が行われなかったことが伝わるとドル円はさらに値をきりあげ、今年の最高値を更新、151円50銭近辺でクローズ。

本日はFOMCがあるが、足元の金融市場の折り込みとしては政策金利の変更は織り込まれておらず、何らかのサプライズを予想する向きは少ない。ドル円に関して言えば、前回の為替介入を実施した水準（152円近傍）に近づくにつれ上値が重くなる可能性はあるものの、日米金利差や円安のスピードなども去年とは異なるため水準感を見極めながらじり高推移となるか。

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに